

令和7年度 第2回 四国中央市男女共同参画審議会 会議録

1. 開催日時 令和8年1月14日（水） 19時00分から20時20分
2. 場 所 市役所市民交流棟 2階会議室
3. 出席者 （委員長）大西広志
（副委員長）猪川佳子
（委 員）田尾千晶、山田雅樹、種田万葉、
小野渡、森川啓子（敬称略）
（事務局）政策部長 石川敦、地域振興課長 福田幸児
地域振興課男女共同参画係 細川純生、野本緑、宇高萌恵
（学校教育課 少年育成センター）森田慎也、宮崎香、大西美保
（長寿支援課）阿部美紀
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
委員長あいさつ
 2. 議事
 - (1)【関連施策ヒアリング】
 - ・訪問相談業務について
 - ・生きがいと健康づくりについて
 - (2) その他
 3. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

	<p>委員長あいさつ</p> <p>●議事（１）【関連施策ヒアリング】</p> <p>訪問相談業務について学校教育課より説明</p> <p>説明後、以下の質問・感想を受けた。</p>
委員	<p>相談のほとんどが不登校ということであったが、対象の生徒は学校に行くのが怖いのか、原因は何なのかは把握しているのか。</p>
担当課	<p>子どもにより原因は異なる。学校に行き人と関わるのが怖い、ガヤガヤした音が苦手、朝起きられない起立性調節障害、学力面でついていけない等。保護者は心配をして理由を聞くが、子どもはその理由を自分で上手に伝えられない。また、聞かれるがために理由を探そうとすることもある。</p>
委員	<p>原因が分かっている場合、解決方法もある程度分かっているのではないかと思います。家庭に問題がある場合は、家庭に踏み込むということは難しいのか。</p>
担当課	<p>訪問するにあたって、親にもできる限り一緒に関わってもらうようにしており、親子体験活動なども行っている。</p>
委員	<p>学校に行くのか、こども支援室に行くのかなど、子どもが自分で決断することは、とても大変なことだと感じる。もっと大人がサポートするべきなのではないかと感じた。</p>
委員	<p>子育ては地域が一体となってできれば良いと改めて感じた。</p> <p>自分の子どもがいじめられる側、いじめる側の双方の立場になる可能性がある。その時に、自分の子どもや相手の子どもに対処して接していけるのかというところも課題であると感じる。</p>
担当課	<p>●議事（１）【関連施策ヒアリング】</p> <p>生きがいと健康づくりについて長寿支援課より説明</p> <p>説明後、以下の質問、感想を受けた。</p>
委員	<p>貯金体操やしこちゅ～みんなのカフェなど、活用したい。</p>
委員	<p>「きょうよう」（今日の用事）と「きょういく」（今日行く所）を心がけていきたい。</p>
委員	<p>10年前に地域でサロンを立ち上げ、当初5人であったが、現在30人程度にもな</p>

	<p>った。貯金体操は映像を見て行うため、大変楽しく人気であるので皆におすすめしたい。</p>
委員	<p>外出を好まない場合は、こういったことをしたらよいのか。</p>
担当課	<p>簡単な運動でも良いので、家の中でできることを探すことが大切である。</p>
委員	<p>高齢者の方によく関わる機会があるが、暇そうにしている方が多いように感じる。元気な方は、内職をしたり、デイサービスなどにも積極的に参加している。社会につながっているということは、とても大切なことなのではないかと感じる。</p>
事務局	<p>●議事（２）その他として、来年度事業計画、委員任期について、機構改革について事務局より説明</p> <p>●閉会</p>